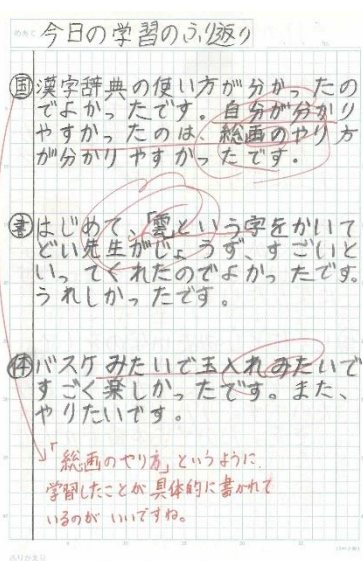
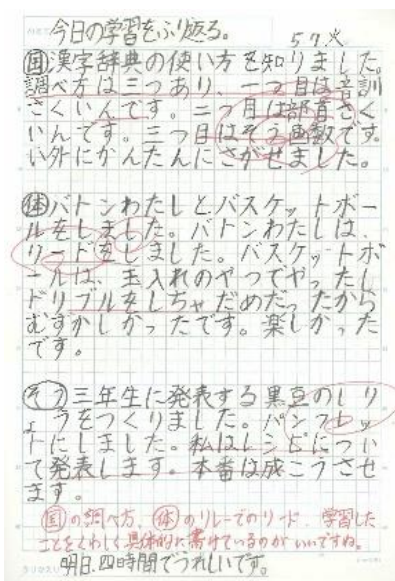


わ く わ く
WAKU WAKU

熊野で一番小さなクラスの一番大きな挑戦

インプットからアウトプットへ



子供たちに宿題として出している「ふりかえりノート」は、何のために行い、どのような効果があるのでしょうか。端的に言えば、「その日に学習したことを定着させる」ためです。人間の脳は、時間の経過と共に記憶を忘れていきます。そこで、学校で学習したことを家庭で反復することにより、忘れにくく、たとえ忘れていたとしても、短時間で思い出せるようにすることをねらいにしています。

上のノートは、実際に子供が書いたふりかえりノートのページです。どの子も頑張っており組んでいますが、この学習の肝は「やったこと」の事実だけでなく、「具体的な内容」まで書き出すことにあります。例えば、国語の授業で漢字辞典の学習した際には、「漢字辞典の使い方を習った」だけでなく、「調べ方には、音訓さくいん、部首さくいん、総画さくいんの3つの方法がある」というように、授業でインプットした知識や情報を、より具体化してアウトプットすることが効果的なのです。今、教室の前の廊下には、見本になるようなふりかえりノートのページを掲示しています。子供たちには、友達の良いところをしっかりと取り入れて欲しいと思います。



さつまいもの苗を植えました

10日(金)に今年のさつまいもの苗を植えました。6年生のリーダーを中心に、縦割り班で植え付けていきました。植え方の指導は、地域の河原さんが懇切丁寧に教えてくださいました。

このさつまいもは、順調に育てば11月頃に収穫し、来年1月のとんどで焼きいもにして、みんなでおいしく食べます(食べられるといいな…)